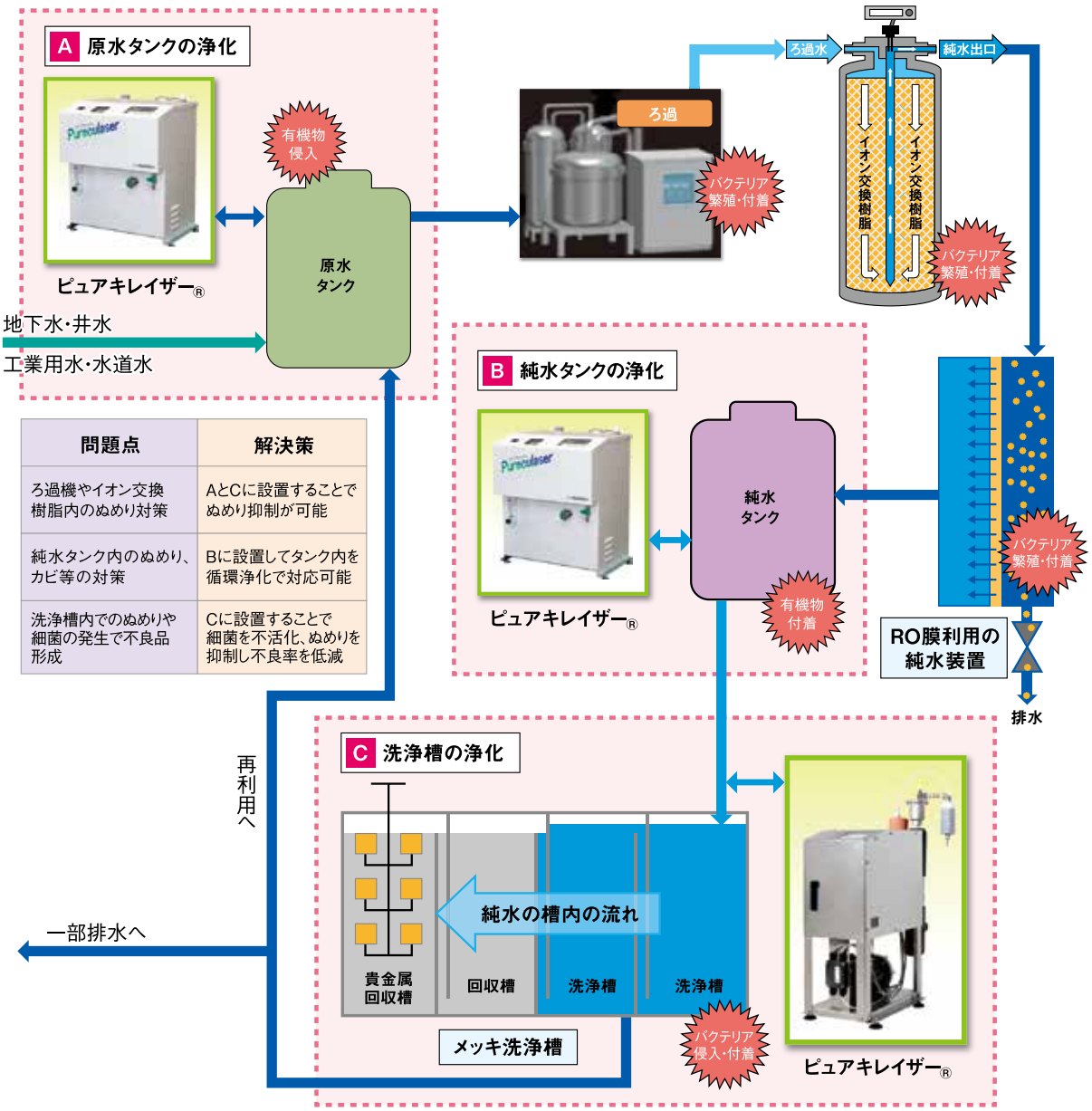
純水の除菌浄化・再利用

純水ラインでの設置事例



問題点	解決策
ろ過機やイオン交換樹脂内のぬめり対策	AとCに設置することでぬめり抑制が可能
純水タンク内のぬめり、カビ等の対策	Bに設置してタンク内を循環浄化で対応可能
洗浄槽内でのぬめりや細菌の発生で不良品形成	Cに設置することで細菌を不活化、ぬめりを抑制し不良率を低減

純水には殺菌作用がなく、細菌が侵入しやすい環境にあります。
この細菌が繁殖すると、純水中の不純物となり、製品不良に繋がります。また、殺菌の為に薬品を使用するのは、純水環境下では制限されます。
そこで、促進酸化法を用いると細菌を分解し不活化していくので、ぬめりの発生を抑制し、後工程への負荷を減らします。

【動画による説明はコチラへ】